

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業			事業番号	011-233
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	
	無		現状値	—	目標値	—	
	有・無		ゴール	—	ターゲット	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	取組	—	—	
無			—	—			
寄与するKPI		有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	結核の罹患率が高い65歳以上の市民 約235,000人	対象数	235,000	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【結核予防週間等における予防啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①街頭啓発キャンペーンの実施（令和4年度：9月24日～9月30日） ②啓発リーフレットの作成及び配布 ③市役所・保健センターで結核についての展示 <p>【肺がん・結核検診】</p> <p>全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施（令和4年度：97回）</p> <p>【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】</p> <p>市内医療機関・福祉施設・学校等は年1回定期的健康診断を実施する必要があり、勧奨によって報告率の向上を目指す。</p> <p>【結核対策費補助金の交付】</p> <p>学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託：一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金：羽衣国際大学ほか			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	結核罹患率	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	15.6	15.0	14.0	13.0
			実績値	14.5	14.6		
			達成率	93%	97%		
当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	肺がん・結核検診受診者数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	2,200	3,500	3,500	
			実績値	3,644	2,967		
			達成率	166%	85%		
当該指標を選定した理由	健康診断実施者は、感染症法第53条の7に基づき、報告しなければならないため。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年実績を参考に設定。						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	事業番号	011-233
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	13,582	17,828	20,654	19,097	19,713	
13 財源内訳	国支出金		0		0	
	府支出金		0		0	
	市債		0		0	
	その他 ()		0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	13,582	17,828	20,654	19,097	19,713
14 人件費 (b)	17,150	16,400	25,000	25,000	22,400	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	30,732	34,228	45,654	44,097	42,113	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	2,513
16 事業費内訳	結核定期健康診断補助金	R4	決算	2,513	2,513	事務費等消耗品費	R4	決算	303	303
		R5	予算	2,797	2,797		R5	予算	342	342
	肺がん・結核健診委託料	R4	決算	11,886	11,886	医学文献情報データベース利用料	R4	決算	275	275
		R5	予算	13,087	13,087		R5	予算	276	276
	会計年度任用職員雇用経費	R4	決算	3,273	3,273	有料道路通行料	R4	決算	13	13
		R5	予算	2,146	2,146		R5	予算	18	18
	肺がん・結核健診案内誘導業務委託料	R4	決算	420	420	会議等参加旅費	R4	決算	26	26
		R5	予算	525	525		R5	予算	9	9
	定期健診報告勧奨等郵送料	R4	決算	336	336	その他(手数料、修繕料等)	R4	決算	52	52
		R5	予算	453	453		R5	予算	60	60

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 肺がん・結核検診受診者数	人	3,644	2,967
② 上記①にかかる年間経費	千円	12,156	12,306
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,336	4,148
備考(算出についての説明等)		②は検診を実施する際に要した委託料及び人件費等	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度と比較すると検診受診者数が減少し、費用対効果も低くなった。要因として、依然新型コロナウイルス感染症の影響による予約制の導入や受診控えが考えられる。加えて新型コロナウイルス流行前に比べると受診者数は減少しているため、結核患者の早期発見を努めるには引き続き受診勧奨を行い、一人でも多く検診の受診につなげる必要がある。(参考：令和元年度受診者数5,637人)
また、一部の会場で同時に実施していた胃がん検診(集団検診)も令和5年度より廃止となったため、受診者の確保が困難になると考えられる。医療機関での検診(個別検診)も引き続き検討していく必要がある。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 検診の受診者数が昨年度より減少しており、罹患率についても横ばいで推移していることが分かる。今般の新型コロナウイルス感染症に対する市民の意識により不要不急の外出の抑制、マスク等着用による感染予防対策、症状出現時の早期受診といった行動が、相対的に結核の早期発見・早期治療を行い、結核のまん延を予防することにつながっていると推測され、当該事業の目的の達成できたといえる。しかし、罹患率については全国が9.2%(令和3年)に対し、堺市は14.6%と高くなっており、引き続き感染予防対策の啓発に努める必要がある。